■日本整形外科超音波学会　会誌投稿規定

2022年8月1日　改定

1. 投稿論文の主著者および共著者は，日本整形外科超音波学会会員であることを要する．
ただし，本学会が投稿を依頼した場合はこのかぎりではない．
2. 論文は未発表であることを要し，その採否は編集委員会で決定する．
3. 論文は和文もしくは英文とする．
4. 和文論文原稿は，以下のごとく記載する．

(1) タイトルページ

① 論文の題名　② 著者名，共著者名　③ 所属（主所属を1カ所）④ Key word(s)（3個以内）
⑤ 連絡先の氏名，住所，電話番号
⑤ 以外はすべて日本語と英語併記のこと．

(2) 和文要旨 400文字以内（英数字は2文字を1文字とする。以下同じ）

(3) 本　文

論文はMicrosoft社のWordで作成する．論文の長さは，本文，文献および図，表をあわせて18,000文字を限度とする．ただし，図，表および写真は1個につきそれぞれ400文字相当とする．
組み合わせ写真はおのおの写真1枚を200文字相当とする．必要ならば動画の掲載（3点まで）も可とする．動画は1個につき1,500文字相当とする．

(4) 原稿は常用漢字，新かなづかいを用い，学術用語は「日本超音波医学会の用語・診断基準」に従うものとする．
（ホームページ　http://www.jsum.or.jp/committee/diagnostic/index.html　参照）
数字はすべて算用数字を使用し，人名は原則として原語で記載する．

(5) 図　表

図表はMicrosoft社のPowerPointで作成する．図表にはタイトルと説明文をつける．図および写真は正確，鮮明なものとし，それらの説明文および表はすべて和文とする．
超音波画像は日本超音波医学会の定めた方法に従う（上記日本超音波医学会のホームページを参照のこと）．
データの形式及び提出方法は，当会の電子投稿規定に別途定めた方法に従うこと．

(6) 文　献

20個以内にとどめる．文献は編末に集め，国内，国外文献を問わず引用順に配列する．本文中の引用箇所には肩見出し番号として記載すること．記載方法は以下に示すとおりである．
その他の引用に関しては編集委員会で最終決定をする．なお，学術集会抄録の引用は認めない．
Webサイトの文献に関しては，投稿論文の内容に不可欠なものに限り記載を認める．

① 雑　誌

著者名（姓を先に，代表著者1名）：表題．誌名，巻（号）：ページ，発行年．
雑誌名の省略は，欧文論文ではIndex Medicusに従い，和文の場合には正式な略称を用いること．

例）　黒岩宣親ほか: パルスドプラ法による肥大型心筋症の左室弛緩能の検討. 超音波医学, 11(5): 272-278, 1984.

例）Ogino T et al.: Diagnosis of radial nerve palsy caused by ganglion with use of different imaging techniques. J. Hand Surg., 16-A: 230-235, 1991.

② 単行書

著者名（姓を先に）: 表題. 書名, 版, 編者, 発行者（社）, 発行地, ページ, 発行年.

例）　DePalma AF: Surgery of the Shoulder. 4th ed., JB Lippincott Co., Philadelphia, 350-360, 1975.

5. 英文論文原稿は, 下記のごとく記載する.

(1) タイトルページ 和文論文に準ずる.

(2) 和文要旨 400 字以内

(3) 本　文

論文はMicrosoft社のWordで作成する. 論文の長さは, 本文, 文献および図, 表をあわせて9,500 wordsを限度とする. 図, 表および写真は1個につきそれぞれ120 words相当とする.

組み合わせ写真はおのおの写真1枚を60 words相当とする. 動画は1個につき300 words相当とする.

(4) 図　表　　和文論文に準ずる.

(5) 文　献　　和文論文に準ずる.

(6) 英文は内容を理解できるものにより英文校閲をすませねばならない.

英文校閲は校閲者の署名を要する.

6. 提出方法は本会が設置したWebサイトよりインターネット上で電子投稿により行う.

投稿者はあらかじめWebサイトよりエントリーをし, 本会の規定した方法により電子投稿する.

本規定に記載外の記述形式や, 論文の体裁の詳細等はWebサイトと電子投稿マニュアルに記載の内容に準ずる.

7. 掲載料は無料とする. しかし, 上記の範囲をこえるものはその実費を著者負担とする.

8. 別刷りは, CD内のPDFファイルによりこれに替えるものとする.

9. 投稿原稿は本会会誌のほか, 本会が作成するCDなどのメディアの作成や本会ホームページなどへの公開を行うことがある.

会誌編集委員会　委員長　渡邉千聡